# 令和３年度丹後塾（チャレンジコース）の参加者募集再開について

令 和 3 年 9 月 1 7 日
京都府丹後広域振興局

令和３年度丹後塾「チャレンジコース」につきましては、京都府内における緊急事態宣言の発令を受け、参加者の募集を停止しておりましたが、この度、プログラムを変更し、参加者募集を再開しましたので、周知につきましてご協力いただきますようお願いします。

記

■丹後塾（チャレンジコース）

丹後管内の自治体及び民間企業等の若手従業員を対象に参加者を公募し、自治体と民間企業等の混合チームにより「10年後の丹後のために今、必要な事業」をテーマに自主研究を実施し、テーマに対する施策や事業等をチーム毎に提案する。

| | |
|---|---|
| 対象 | 丹後管内の自治体及び民間企業等で勤務する若手従業員（採用３～12年目程度）<br>※所属からの推薦があればその他の方でも応募可能です。 |
| 定員 | 20名程度 |
| 期間 | 10～１月の約３ヶ月間（スケジュールについては別添のとおり） |
| 申込 | 令和３年10月６日（水）までに京都府丹後広域振興局 企画･連携推進課宛メールにて様式を送付 |
| 備考 | 令和４年１月に最終報告会を実施予定（別途お知らせします。） |
| 参考 | http://www.pref.kyoto.jp/tango/ki-kikaku/news/tangojuku2021challenge.html |

問い合わせ先
京都府丹後広域振興局 地域連携･振興部 企画･連携推進課　西川
TEL 0772-62-4300　FAX 0772-62-5894　Ｅメール：t-c-kikaku@pref.kyoto.lg.jp

別紙

【自主研究】

●期間

自主研究支援プログラム開始日（令和３年10月中旬）～最終報告会開催日（令和４年１月中旬）

●内容

・受研者をチームに分け、指定のテーマに対して各チームで調査を行う。
・各チームは、必要に応じて、研究テーマに関する講師の招聘や現地調査を実施することができる。
・自主研究に要する経費については京都府丹後広域振興局が負担する。
・最終報告会で自主研究の成果を発表する。

【自主研究支援プログラム】

| 日程 | 項目 | 内容 |
|---|---|---|
| 10月中旬 | キックオフ | チームメンバーの顔合わせや丹後地域の地域課題等について考える講義のほか、各チームで取り組むテーマについて考えるワークショップを実施<br>講師　株式会社ローカルフラッグ　代表取締役　濱田 祐太 氏<br>備考　チーム単位で個別に実施<br>日時及び場所については各チーム及び講師と調整 |
| 10月～１月<br>（月１回程度） | メンター相談会 | 自主研究の進捗等についてメンターに相談するオンライン相談会を実施（任意参加）<br>メンター　株式会社ローカルフラッグ 代表取締役　濱田 祐太 氏 |
| 12月上旬<br>（予定） | 中間報告会 | 各チームの進捗状況を発表した後、アドバイザーによるフィードバックを実施（日時、会場については後日調整）<br>アドバイザー　福知山公立大学　谷口 知弘 教授 |
| １月中旬<br>（予定） | 最終報告会 | 各チームの研究成果を発表（日時、会場については後日調整）<br>アドバイザー　福知山公立大学　谷口 知弘 教授 |

※緊急事態措置等の状況により変更する場合あり

# 丹後塾

令和３年度

令和3年9月17日更新

## チャレンジコース
（オフライン・オンライン併用）

丹後地域の行政機関や民間企業等に勤務する若手従業員でチームを構成し、チームで地域の課題解決等に繋がる企画提案に向けた自主研究を行う約3ヶ月間のプログラムを実施します。
丹後地域の若手同士の組織の枠を超えた連携や相互理解を深め、受講者の企画立案、課題分析等の力を高め、これからの丹後地域を担う人材の育成を目指します。

【京都府HP】
http://www.pref.kyoto.jp/tango/ki-kikaku/news/tangojuku2021challenge.html

チャレンジテーマ

## 10年後の丹後のために 今、必要な事業とは？

## 丹後塾 とは？

よりよい丹後地域にしていくために、行政と民間が一緒に学ぶ場です。
今年度は一般コースとチャレンジコースの2コースで実施します。

一般コース
▸ http://www.pref.kyoto.jp/tango/ki-kikaku/news/tangojuku2021.html

## カリキュラム

| 申込/選考 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 |
|---|---|---|---|---|
| 参加者決定<br>チーム分け | ← 自主研究・メンター相談会 → | | | |
| | キックオフ | | 中間報告会 | 最終報告会 |

### 10月～1月　自主研究

受研者は4、5名程度のチームに分かれ、「10年後の丹後のために、今、必要な事業」について、リサーチ（先進事例調査、関係者取材、現地視察等）し、チームとしての提案を作成

＜ポイント＞
- 受研者同士で役割を分担してチームを運営
- 講師謝金や旅費等、リサーチに経費が発生する場合は丹後広域振興局が負担（事前審査あり）

## 自主研究支援プログラム ／ 中間報告会 ／ 最終報告会

### 10月18日～22日（いずれか1日のうち、10時から17時の中から2時間程度）
### キックオフ（チーム別に実施）

チームメンバーの顔合わせや丹後地域の地域課題等について考える講義のほか、各チームで取り組むテーマについて考えるワークショップを実施
（日時、場所はチーム別に設定してお知らせします。）

講師　㈱ローカルフラッグ　代表取締役　濱田 祐太 氏

### 【月1回程度】メンター相談会（オンライン・任意参加）

月に1回程度、各チームの進捗状況等についてメンターに相談可能
（日時については後日調整）

メンター　㈱ローカルフラッグ　代表取締役　濱田 祐太 氏

### 12月上旬（予定）　中間報告会

各チームの進捗状況を10分程度で発表後、アドバイザーによるフィードバックを実施　（日時、会場については後日調整）

アドバイザー　福知山公立大学　谷口 知弘 教授

### 1月中旬（予定）　最終報告会

各チームの研究成果を10分程度で発表
（日時、会場については後日調整、一般傍聴者を公募予定）

アドバイザー　福知山公立大学　谷口 知弘 教授

## 受講者応募について

**■参加対象**

丹後地域内に勤務する概ね採用3～12年目程度の若手従業員のうち、所属長等から推薦のあった者
（所属先等からの推薦があれば、勤務年数が上記に該当しない場合でも応募可能です。）

**■定員**

20名程度（書類により選考、チーム分けを行います。）

**■申込方法**（10月6日（水）〆切）

**Step 1**

受研希望者は受研応募申込書（様式1）を作成し、所属長等を経由して所属先の担当部署に提出

**Step 2**

所属先の担当部署は、受研希望者を取りまとめの上、受研者推薦書（様式2）を作成し、令和3年10月6日（水）までに以下のお問い合わせ先にメール送付
（受研希望者から提出された様式1を添付）

**■備考**

詳細は実施要領、募集要項をご覧ください。

主催：京都府丹後広域振興局　　お問い合せ先：企画・連携推進課（電話 0772-62-4300　メール t-c-kikaku@pref.kyoto.lg.jp）